

御氏名	御功績
<p>秋藤 洋一 医師 鳥取県保健事業団</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・永年に亘り、臨床医として昼夜を分かたず献身的に地域住民の疾病治療にあたるとともに、消化器疾患の専門医として胃・大腸がんの研究と治療に尽くした。 また、がんの予防対策について深い関心を示し、永年に亘る臨床経験から数多くの症例を経験すると共に、日常診療と並行してがん検診を続け、健康教育活動を通じて検診の重要性を説くとともに、日常の生活習慣の改善を勧めてがんの予防に貢献した。 ・永年に亘り東部医師会理事、鳥取県医師会理事として、医師会内部のがん対策事業に取り組み、行政と協力して地域住民の健康確保に努めている。 ・鳥取県健康対策協議会胃がん検診読影委員会委員及び委員長として、胃集団検診フィルム読影と発見胃がん確定調査に尽力し、胃がんの予防と精度管理向上に尽くすとともに、大腸がん注腸読影委員会委員及び委員長として、注腸X線フィルム読影と読影指導会を行い、指導力を発揮した。 ・鳥取県健康対策協議会胃がん並びに大腸がん対策専門委員会委員等として、精度管理とその向上に尽力しており、検診実績の評価検討、追跡調査を行って早期発見、早期治療に努め精度管理向上に尽くしているほか、症例検討会、検診従事者講習会などを開催し、関係者の資質向上を図り、自身も積極的に出席して最新の知識の吸収に努めている。
<p>大久保 誠 診療放射線技師 鳥取県保健事業団</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和57年4月1日に鳥取県保健事業団に入職以来、職域及び地域の胸部X線検診に従事し、延べ30万人の撮影を行うとともに昭和62年から「肺がん検診」が開始されると同時に、鳥取県健康対策協議会肺がん対策専門委員会の委員として、令和2年3月31日まで検診の精度管理向上に携わり、肺がん検診の普及と早期発見に多大な寄与をした。 ・昭和57年4月1日より今日に至るまで、「胃がん検診」における胃部X線撮影に従事し、延べ15万人の撮影を行うとともに平成27年より日本消化器がん検診学会中国四国支部の健診従事者委員会委員長として、中国四国地区の胃がん検診精度管理向上に努めるとともに、撮影技術の向上とがんの早期発見に多大な寄与をした。 ・平成10年より平成20年1月まで、「乳がん検診」の乳房X線撮影に従事し、延べ5千人の撮影を行うとともに、平成27年度から平成30年度の4年間、鳥取県診療放射線技師会会長として、「鳥取ピンクリボンフェスタ」を開催し、マンモグラフィ検診の普及と啓発に多大な寄与をした。 ・定年退職後においても、診療放射線技師として最新の診療情報を取得して、がん検診撮影を中心に診療に従事する姿勢は、後進の模範となっている。